

「大学教育の多文化化」に関する特別セッション発表要旨

北脇保之

本学のグランドデザインにおいて、本学は「地球社会時代の未来を拓く教育研究の拠点大学」を目指すこととしている。本学が「地球社会時代の教育研究拠点」になるためには、留学生の獲得に積極的である必要があるが、それだけでは十分ではない。留学生も日本人学生も、学部・大学院教育やイベント・学生サークル、日常生活の様々な場面で出会い、議論し、交流することで、単なる知識のレベルにとどまらない生きた多文化体験をし、より広い視野を身につけ、自己の文化を相対化する目を獲得し、国際社会に貢献できる人材として育つことが重要である。

本学は、言語的・文化的に多様な留学生の積極的な受入れを進めるとともに、多言語によるコミュニケーション環境および留学生と日本人学生が共に学び生活する環境をつくることによって、大学教育の多文化化を進めている。

現在本学に設置された「大学教育多文化化推進チーム」において、大学教育多文化化に関する提言を取りまとめ中である。提言では、世界26言語の研究教育を活かして世界各国・地域から幅広く留学生を受け入れるなかで、特に新興諸国からの受入れに重点を置くべきこと、また、日本語および日本の文化・社会に関心のある者だけでなく、自らの国・地域や広く世界の言語・文化・社会に関心のある者を受け入れていくべきことを盛り込む予定である。